

学会賞受賞者一覧(平成8－12年は製糸絹研究会賞、以降は日本シルク学会賞)

年度	受賞者氏名	受賞課題名
平成8	田内真澄	コンピュータ制御による自動配繭システムの構築と利用技術
8	仁科勝海	本場大島紬の品質改善と関連染織絹製品の開発
9	三村温子	天蚕繭の繰糸に関する研究
10	星野伸男	煮繭・繰糸機を中心とした製糸機械の開発とその普及
10	上石洋一	化学加工による絹の改質に関する研究
11	神田千鶴子	絹ガラ紡糸等による新衣料素材の開発に関する研究
11	原田尹文	煮繭機等製糸機械の開発とその普及
12	小此木エツ子	地域絹素材のブランド化技術の普及
13	草間健一	自動繰糸機を中心とした製糸機械の機能改善とその普及
14	白倫	製糸技術特に生糸の織度理論に関する研究
14	山田晶子	絹織の熱伝導・吸放湿に関する研究
15	該当者なし	
16	木下晴夫	煮繭工程における最適制御法の確立
16	操利一	草木泥染め大島紬の化学加工による品質改善と洋装への展開
17	加藤弘	絹繊維の染色および化学加工技術の開発に関する研究
18	三戸森領夫	製糸技術の体系化保存
19	該当者なし	
20	神津剛夫	生糸検査における格付の信頼性に関する研究
21	該当者なし	
22	瓜田章二	原蚕種小石丸の絹素材特性の解明とその製品化技術体系の確立
23	高林千幸	シルクの多様形態利用加工技術開発と製品化技術体系の確立
24	玉田靖	シルクフィブロインを基盤とする新素材の創出とその製品化技術の開発
25	該当者なし	
26	該当者なし	
27	清水重人	絹新素材の開発と製品化に関する研究
28	塚田益裕	機能性絹タンパク質の製造と応用に関する研究
29	該当者なし	
30	森川英明	数理統計学的手法による製糸プロセスの解析とモデル化に関する研究
令和1	伊豆原月絵	洋装に適する絹織物の特性に関する研究

令和1	栗岡 聡	シルクの分解抑制分子機構の解明と機能性利用に関する研究
2	該当者なし	
3	林 久美子	わが国の蚕糸技術に関する調査研究ならびにその継承と普及活動